

情報公開文書

研究の名称	術後 CT 画像を用いた硬膜外チューブの皮下走行経路に関する疫学調査：後方視的観察研究
整理番号	
研究機関の名称	富山大学附属病院
研究責任者	富山大学学術研究部医学系麻酔科学助教 松尾光浩
研究の概要	<p>【研究対象者】 2005年3月1日から2023年2月28日の期間に当院で硬膜外麻酔を用いた全身麻酔を実施され、かつ術後5日以内にCTを撮影された全ての患者さん。</p> <p>【研究の目的・意義】 本研究では、CT画像データを用いてMaximum intensity Projection法を行い、客観的に硬膜外チューブの刺入部位、皮下走行ルート、硬膜外腔での留置長さ、およびチューブ先端位置を評価します。これにより、硬膜外麻酔の質の向上および麻酔科専攻医に対する教育の改善が期待されます。</p> <p>【研究の方法】 後ろ向きの観察研究。</p> <p>【研究期間】 研究実施許可日から2025年3月31日までの期間。</p> <p>【研究結果の公表の方法】 本研究結果は日本麻酔科学会で発表予定です。</p>
研究に用いる試料・情報の項目と利用方法（他機関への提供の有無）	硬膜外麻酔の実施記録、CT画像データ、患者年齢や身長などについて診療録より抽出する。得られた情報について統計解析を行います。
研究に用いる試料・情報を利用する機関及び施設責任者氏名	富山大学附属病院 病院長 林 篤志
研究資料の開示	研究対象者、親族等関係者のご希望により、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計画書等の研究に関する資料を開示いたします。
試料・情報の管理責任者（研究主機関における研究責任者氏名）	富山大学学術研究部医学系麻酔科学助教 松尾光浩
研究対象者、親族等関係者からの相談等への対応窓口	<p>研究対象者からの除外（試料・情報の利用または他機関への提供の停止を含む）を希望する場合の申し出、研究資料の開示希望及び個人情報の取り扱いに関する相談等について下記の窓口で対応いたします。</p> <p>電話 076-434-7377 FAX 076-434-5040 E-mail mmatsuo@med.u-toyama.ac.jp 担当者所属・氏名 富山大学学術研究部医学系麻酔科学 松尾光浩</p>